

### (3) 骨 材

#### 新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における平成29年度10月～12月期の骨材需給は、前年度同期と比較して、公共事業が横ばいの中、再生骨材の優先使用によりバージン材利用の減少が続いているため、出荷量、生産量は共に昨年同期と同程度であり、県計では、出荷量は増減なし、生産量は7%減となった。

地区別に前年度同期比で見ると、上越地区では、出荷量で12%増、生産量で5%増、中越地区は、出荷量が12%減、生産量で9%減、下越地区は、出荷量が3%増、生産量で12%減、佐渡地区は、出荷量で2%増、生産量で2%減となった。

12月末の在庫量は、前年度末より3%減、前年度同期比で5%減となった。

#### 富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における平成29年度10月～12月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量が9%減、生産量が12%減といずれも減少となったが、前期(平成29年度7～9月期)比では、出荷量は6%増、生産量は2%減となった。

地区別では、東部地区は出荷量が18%の減、生産量は27%の減と6期連続で大幅な落ち込みとなった。また、西部地区では、出荷量は1%増、生産量も1%増といずれも増加となったが、前期(平成29年度7～9月期)比では、出荷量は8%増、生産量は8%増となった。

東部地区では公共事業量の大幅な減少の影響を受け、需要が低迷している。なお、いずれの地区も出荷量が対前期比で増となっているのは、この時期における公共事業の発注が多くなっているためと考えられる。

12月末在庫量の前年同期比では、県計で17%減、地区別では東部地区が20%減、西部地区は4%減となった。

なお、前期末(平成29年9月末)より、県計が13%減、東部地区が17%減、西部地区は5%増となっている。

※東部、西部の在庫量の精査のため、平成28年度在庫量に変更あり。

#### 石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における平成29年度10～12月期の骨材(県内産)の需給状況は、引き続き加賀地区の陸砂利・川砂利と山碎石の出荷が、ともに好調を維持しており4期連続の増加となった。また能登地区も量的に少ないながらも増加となったことから、県計全体の出荷量は前年同期と比べて28%の増加となった。

地区別の出荷量の比較では、加賀地区は、陸砂利・川砂利が今期も33%の増加を確保し、また同地区の山碎石も15%の増加となったことから、総じて加賀地区の出荷量は前年同期と比べて28%の増加となった。一方能登地区も、依然として県外からの流入材に押されているものの、今期は前年同期比で33%の増加となった。

その今期の出荷量の内訳を見ると、加賀地区の主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利については、主要な需要先である生コン業者向けの出荷は、大口需要の金沢地区が前期からの低調な状況が続いているため前年同期比で12%の減少となったが、北陸新幹線関連工事の特需が本格化し急増している南加賀地区は、前期よりさらに出荷を伸ばし、前年同期比の増加率も209%に達した。一方、アスファルト合材業者向けの出荷は、今期も回復の兆しは見えず前年同期比で17%の減少となった。この結果、総じて今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期比で33%の増加となった。

一方、路盤材を主体とする加賀地区の山碎石は、今期も北陸新幹線関連工事の特需も含め増加基調を維持しており、前年同期比で15%の増加となった。

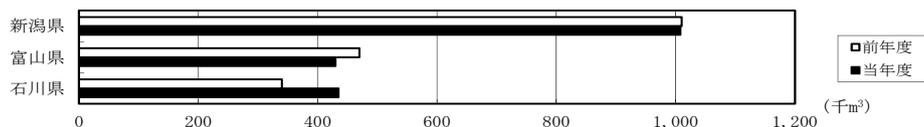
また能登地区の山碎石については、今期は前年同期比で33%の増加となったものの、やはり実質的な販売量は県外からの流入材に押されて依然として少なく、この地区の地場産業者の需要環境は、厳しい状況が続いている。

生産量については、能登地区は出荷量に合わせた生産体制をとっているが、加賀地区は北陸新幹線関連工事の特需に対応するため増産傾向にあり、県計では前年同期比で30%の増産となった。

在庫量は、加賀地区の陸砂利と川砂利の在庫が出荷の急増により減少傾向にあるため、県計全体の前年同期比では9%の減少となった。

第3四半期迄(H29.4～12月)の累計では、出荷量が県計で前年度上半期と比べて27%の増加となり、生産量も28%の増産となった。しかし在庫量は逆に9%の減少となった。

骨材出荷量の推移（10月～12月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	平成28年度 年計	平成29年度				累計
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	出荷量	▲1 715	▲1 182	14 248	12 249	9 679	
		生産量	▲4 708	▲2 195	10 248	5 239	4 682	
		在庫量	▲4 210	▲4 224	▲8 224	▲14 214	▲14 214	
	中越	出荷量	▲10 1,110	1 278	0 340	▲12 310	▲4 928	
		生産量	▲14 1,118	▲6 281	▲3 344	▲9 290	▲6 915	
		在庫量	2 362	▲3 365	▲6 369	▲5 345	▲5 345	
	下越	出荷量	▲15 1,250	▲3 287	0 301	3 385	0 973	
		生産量	▲20 1,290	10 328	▲11 298	▲12 326	▲5 952	
		在庫量	5 702	12 743	6 740	▲2 681	▲2 681	
	佐渡	出荷量	▲12 206	29 45	▲7 53	2 64	5 162	
		生産量	▲6 205	18 45	▲14 49	▲2 61	▲1 155	
		在庫量	▲2 46	▲8 46	▲16 42	▲19 39	▲19 39	
	県計	出荷量	▲10 3,281	0 792	3 942	0 1,008	1 2,742	
		生産量	▲14 3,321	2 849	▲4 939	▲7 916	▲3 2,704	
		在庫量	2 1,320	4 1,378	▲1 1,375	▲5 1,279	▲5 1,279	
富山県	東部	出荷量	▲19 814	▲6 179	▲20 180	▲18 188	▲11 547	
		生産量	▲26 760	▲3 179	▲11 180	▲27 155	▲14 514	
		在庫量	▲65 199	▲19 199	▲11 199	▲68 166	▲68 166	
	西部	出荷量	6 889	▲8 197	▲9 224	1 242	▲5 663	
		生産量	2 876	▲3 194	▲9 226	1 244	▲4 664	
		在庫量	▲37 42	▲9 40	▲7 42	▲24 44	▲24 44	
	県計	出荷量	▲8 1,703	▲7 376	▲14 404	▲9 430	▲10 1,210	
		生産量	▲13 1,636	▲3 373	▲10 406	▲12 399	▲9 1,178	
		在庫量	▲62 241	▲18 239	▲10 241	▲64 210	▲64 210	
石川県	加賀	出荷量	8 1,216	31 339	23 381	28 427	27 1,147	
		生産量	4 1,192	32 350	23 372	31 416	28 1,138	
		在庫量	▲14 150	▲12 161	▲13 152	▲11 141	▲11 141	
	能登	出荷量	▲5 21	17 7	- 5	0 8	18 20	
		生産量	4 24	17 7	20 6	0 8	11 21	
		在庫量	60 8	60 8	80 9	29 9	29 9	
	県計	出荷量	7 1,237	31 346	23 386	28 435	27 1,167	
		生産量	4 1,216	31 357	23 378	30 424	28 1,159	
		在庫量	▲12 158	▲10 169	▲11 161	▲9 150	▲9 150	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県  
会員104社のうち104社

富山県  
会員86社のうち86社  
非会員1社のうち1社

石川県  
会員21社のうち21社 (委託工業者含む)  
非会員16社のうち9社  
(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)